

# 第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 12010120

政策目標	3	のひやか・雄武～教育・文化の振興～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	12	学校教育の充実	事業優先度	B		
単位施策	2	小中学校の教育環境の充実	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)		
事業名	各学校施設修理改修事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	12 教育委員会教育振興課		
事業主体	雄武町		関係課	11 町有施設整備室		
事業指標	学校施設の適切な維持管理			#N/A		
事業目標	全校		ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業		
住民参加	無		関係例規・法令名	無		
住民協働	無		関係個別計画名	無		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容	
計 画 内 容	小規模修理・改修工事の実施	小規模修理・改修工事 一式	小規模修理・改修工事 一式	小規模修理・改修工事 一式	小規模修理・改修工事 一式	小規模修理・改修工事 一式	
	事業費(千円)	15,938	2,330	3,240	3,888	3,240	
計 画 事 業 費	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	15,938	2,330	3,240	3,888	3,240		
実 績 事 業 費	事業費(千円)	4,617	2,224	2,393	0	0	
	財源内訳						
	国庫支出金	0					
	道支出金	0					
	地方債	0					
その他	0						
一般財源	4,617	2,224	2,393				
関 連 事 項	特定財源の名称						
	【評価・実績】	(実施内容等) 雄武小学校児童用トイレ・水 飲み場塗装工事 幌内小学校運動公園柵・木 造遊具撤去工事 雄武中学校高圧開閉器取替 工事 他 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等) 雄武小学校体育館ステージ 袖幕取替工事 他 雄武小学校・沢木小学校 高圧受電盤塗装 豊丘小学校 暗幕開閉器取替 雄武中学校 区画線整備 他 ※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果	
	前記計画からの継続 (継続有り)	年度目標値 全校	年度達成率 95%	74%	0%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率 事業進捗状況	14%	29%	29%	29%	29%

事業名	各学校施設修理改修事業	評価者 管理職 職氏名	教育振興課長	澤田 朋 朗
		評価者 作成者 職氏名	教育振興課教育総務係長	武 藤 知 憲

様式1  
平成26年度実施  
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	学校関係施設	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	学校施設の適切な維持管理	
【抱える課題やニーズは】	安全で安心な教育環境を維持するため、老朽箇所の整備が必要である。	指標(指標計算式/解説)	目 標 値 及 び 実 績 値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	児童生徒が安心して学校生活を過ごすことができる環境を整備するとともに、施設の延命化を図る。	① 町内学校施設	目 標 年 度	平成26 年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	児童・生徒、保護者及び学校関係者が安全で安心できる教育環境づくりを推進する。		目 標 値	6 校
			実 績 値	6 校
			達 成 度	100.0 %
		②	目 標 年 度	平成26 年度
			目 標 値	
			実 績 値	
			達 成 度	#DIV/0! %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	学校要望調査の実施	各学校における修理等要望調査を実施し、実施箇所の決定を行っています。		
	状況把握	学校管理職、工事担当課との現状確認により、緊急性や必要性を考慮し、翌年度の工事施工箇所及び工法について確認しています。		
	工事施工	教育環境を維持するために各種工事を発注しています。		

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	児童、生徒が義務教育を受けるための学校施設を町が維持管理していくことは必要不可欠であり、特に児童、生徒の安全面を最重要視し、保護者も安心できる教育環境を整備するために本事業の実施は必要であると判断します。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	教育環境整備として施設の延命化が図られていると判断します。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input checked="" type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	必要工事の精査、費用積算についても効率性を重視しています。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input type="checkbox"/>	判断の理由	児童、生徒が等しく安全性の受益を享受することができているので、公平性が保たれていると判断します。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等  
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等  
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等  
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
児童生徒が義務教育を受けるための環境づくりを通じて、保護者が安心して子どもを学校に通学させられる環境が整備されており、計画どおり事業が進んでいます。		

今後の展開方向  
(Action)

継続/現状維持		
児童、生徒の安全面を最重要視し、的確な修繕工事の必要性を把握し、児童、生徒が義務教育を受けるための環境づくり及び保護者が安心して子どもを学校に通学させられる環境づくりを推進するため、今後も計画的に事業を進めることが適当であります。		

※展開方向の区分  
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更  
○終了 ○休止 ○廃止